

2020年度 一般社団法人 東金青年会議所
理事長所信

伊藤 肇

『はじめに』

1949年「新日本の再建は、我々青年の仕事である」という志のもと立ち上がった青年会議所は、戦後高度経済成長と共に全国へ広がりを見せ、山武地域においても発足致しました。創立50周年を迎える本年まで、先輩方の取り組みは地域の発展につながり、多くの人財を輩出し、地域において必要な団体となったことは、紛れもない事実です。今を生きる私たちのため、未来を生きる子どもたちのため、ご活躍頂いたことに感謝致します。

この50年の間で、地域は進化を続け現代においてもそのスピードは加速し続けています。先輩方が、未来を見つめ地域を牽引してきたように、私たちもこれからの社会を見つめ、時代に合わせた取り組みを行っていかなくてはなりません。そのためには、「明るい豊かな社会の実現」という揺るぎない志を持ち、「地域の未来は自らの力で切り拓く」という熱き情熱とともに、青年としての責任を果たしていかなくてはなりません。失敗を恐れず果敢に取り組むことが、必ずや自分自身の成長、そして地域の発展につながります。混沌という未知なる社会を、責任を持ち更なる未来を思い描き、道を切り拓いて参ります。

『会員拡大を成し遂げるために』

近年、会員の減少は青年会議所だけの問題ではなく、多くの団体でも叫ばれています。しかし、未来を創る青年が地域を考え行動を起こしていかなくては社会の発展は危ぶまれます。東金JCでは、会員拡大に対する意識は高くなり、入会の成果を出すことができています。しかし、新たな会員のモチベーションを上げることができず、気持ちが離れてしまう会員も存在しており会員拡大という結果までは、辿り着いていない現状があります。

会員拡大に対しては、青年が地域の道を切り拓くことの大切さを伝え、メンバー一同が危機感を持ち、自らが先頭に立ち情報の収集と発信を行い一心不乱に取り組み、10名の拡大を目標とします。そのためには、例会へ呼び込むまでに入会候補者と向き合う時間を大切にすることと、入会后会員の目的意識に合わせた機会の提供をしていくことを大切にしていきます。新入会員のモチベーションの高さこそ、東金JCの活力の高さになると考えます。

それにより、LOMの活性化を図ることができ、誰もが会員拡大に対する前向きな考えを持つことができます。新たな道を広げるためには、会員拡大の取り組みによって得られる成果を揺るぎない自信に変え、更なる希望を高めることが必要です。会員拡大という手法へ力を注ぎ、10名の拡大目標を実現します。既存の会員の活動へ対する自信、新たな会員の活動に対する目的意識の向上、まだ見ぬ新たな仲間を求め、地域の未来を変える一歩として歩んで参ります。

『未来へつながるまちづくり』

現代社会では、人口減少・少子高齢化という問題を抱えており、各地の行政・各諸団体が取り組んでいます。大きな成果を出すことが出来ていない現状です。だからこそ、個々の取り組みを強化するのではなく、山武郡市が一つとなり取り組む仕組みづくりを考えなくてはなりません。地域に於ける観光を始め、魅力ある取り組みを地元の方々へ届け、意識を山武郡市へ向けてもらうことが大切です。それにより、経済のシステムが地域循環型へシフトし好循環していくのです。

そのためには、地域の未来へ責任を持ち社会の発展を求め、地域の課題と一人ひとりが向き合い、主体的に取り組む人財の育成が必要です。一人ではできない事も、志高きものは魅力的で共感者が増えます。情熱的なものには、力と継続性が備わります。オール山武で地域を創るには、未来のヴィジョンを描け、人を惹きつける人財を東金J Cで育てていかななくてはなりません。

さらに事業を加速させるには、山武郡市の横のつながりを強化して、広域の取り組みへ意識を高めていかななくてはなりません。現代社会において情報は、地域を活性化する重要な役割を持ちます。人とひととで結ばれるネットワークだけではなく、これから更に価値が高まるインターネットなどを駆使し、情報の集積と発信を行い横のつながりを強化していきます。情報には人を惹きつける力があります。情報のある場所には、必ずや地域のニーズが生まれます。求められるニーズの把握こそ、これからの未来を選択する重要なデータとなるのです。

そして、魅力ある山武郡市を千葉ブロック大会へ向けて発信をして参ります。千葉ブロック大会では、行政や団体の垣根を超え、地域が一つとなる事業を構築して参ります。また、県内のメンバーに対し、千葉県における問題へ目を向けて頂き、これから先の歩む道を創造していただく機会にします。この大会を通じ、自らの活動が地域に影響を与えることが出来る実体験から、活動に対する自信と誇りを持つことが出来ると信じます。メンバーが一丸となり生まれる力を実感し、互いを認め合うことで東金J Cの活動は飛躍できると考えます。

山武郡市の活性化へ向け、地域が一丸となり観光や経済を考え、県内メンバーを取り込むことが、地域さらには千葉県の発展につながります。それこそが地域循環型の経済システムへのシフトにつながり、人口減少・少子高齢化時代にも未来を描く事の出来るまちづくりであります。

『創立50周年とこれからの活動』

1970年茂原青年会議所のスポンサーの基、山武地域において東金青年会議所が設立致しました。50年変わらず受け継がれた「明るい豊かな社会の実現」という想いは今も変わらず現代へ生かされています。

この創始の精神を受け継いでいくには、組織としての団結力を高めるうえで一番大事なコミュニケーションを深め、青年会議所運動の必要性を学ぶことが大切です。また、現代の社会に合わせた活動の取り組み方を考え、更なる東金J Cの運動を展開していかななくてはなりません。

そして、創立50周年を新たなスタート地点と位置づけ、これから先の地域の未来を創る一人としての責任を持ち、そのために青年会議所が必要な道筋を創る自覚をしていかななくてはなりません。そして日頃より協力していただいているの方々へ感謝を伝え、新たな一歩を踏み出す決意をすることで、更なる協力関係を深め未来への活動を推進致します。

この一年を通じ、東金J Cとして変えてはいけないうこと、変えなくてはいけないうことを一人ひとりが考え、次代においても活躍できる人財を輩出し続けられる環境づくりをしていきます。

『これからの道』

私たちは創立50周年という場面に立っています。これからの道をどのような方向に進めていくかを決めなくてはいけない時に向き合っています。先輩方が思考を凝らせ一歩ずつ歩んで来た道を引継ぎ、私たちが更に歩み続けていかななくてはなりません。

どのような道を歩むにしても、揺るがない志と青年としての情熱がない道には納得して歩むことはできません。自らの選ぶ道は自信を持って突き進む覚悟が必要です。そこに、成功体験の数が多くなれば、自信から確信に変わり、歩むスピードは加速していきます。それを叶えるには、一人で歩むのではなく多くの仲間と歩むことが絶対に必要です。今、偶然ではない必然的な出会いの中で、時間を共にする仲間と価値観を高め合い切磋琢磨していきます。より多くの仲間を迎え入れ、歩む道を広げて参ります。

メンバー一同が青年らしく活気を持ち、更なる飛躍を求め、恐れることなく新たな一歩を、確実な一歩を踏み出そう。そこには、必ず地域の明るい豊かな未来はやってきます。信じたものだけが見る事が出来る輝かしい未来を求めて。